

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	中小企業金融論 (Small business finance)					担当教員	谷川 孝美 (タニカワ タカヨシ)		
科目コード	392090-14230								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要

地域密着型の中小企業金融の理論と実際を学びます。信用組合業界の現状を踏まえた講義を通じて、協同組織金融機関が直面する様々な課題と信用組合の存在意義や実務の理解を目指します。また、近年の金融教育の重要性の高まりを考慮して、利用者からの視点を講義に取り入れて、多面的な考え方を身につけることも狙いとしています。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

金融に関する基本的な知識を習得した上で、中小企業と金融の関係を理解し、信用組合について認識を深めることを目的としています。その理解・認識の上で、地域密着型の中小企業金融について、多面的な視点で論じることができるようになることを目標としています。

専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

パワーポイントを使用した講義形式をとります。講義時に質疑をおこないますので、積極的な授業参加を希望します。また、前任の担当教員も講義をする予定です。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

特になし

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 金融の基礎知識
- (ii) 中小企業の基礎知識
- (iii) 中小企業金融に関する全般的な理解

⑥ テキスト（教科書）

テキストは指定しない。各回、レジュメを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

藪下史郎他（2006）『中小企業金融入門（第2版）』東洋経済新報社
講義時に適宜紹介します。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
------------	----	------	----	------	-----------	---------------	-----	----

総合評価割合		20%		80%				100%
(i) 金融の基礎知識		20%		20%				40%
(ii) 中小企業に関する基礎知識				20%				20%
(iii) 中小企業金融に関する基礎知識				40%				40%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
前年度の担当教員からは、毎年熱心な学生が多く、特段の問題はないと伺っています。前年度と同様に、この分野に関心をもって臨むことを希望します。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス		新聞やニュースなどで金融に関することを確認する。	60分
2	中小企業金融を理解するための金融取引	配付資料	参考文献などによる金融取引の確認	90分
3	中小企業金融を理解するための貨幣	配付資料	貨幣の定義、マネースtock統計の確認	90分
4	中小企業金融を理解するための金利および金利の決定	配付資料	金利決定の練習問題および小テストの復習	90分
5	金融における情報の非対称性問題	配付資料	参考文献などによる情報の非対称性の確認	90分
6	情報の非対称性問題に対する金融機関の対応	配付資料	参考文献などによる情報の非対称性と金融機関行動の確認 小テストの復習	90分
7	中小企業金融の特徴と役割	配付資料	参考文献などによる中小企業金融の特徴の確認	90分
8	信用組合の制度	配付資料	配布資料などによる信用組合の制度の確認	90分
9	信用組合の歴史	配付資料	配布資料などによる信用組合の歴史の確認	90分
10	地域金融機関としての中小企業支援の実際(1) 創業・新事業支	配付資料	配布資料などによる中小企業支援の確認	90分

	援・事業(企業)再生の概要と取組み (前任教員担当予定)			
11	海外の地域・中小企業金融の現状と課題 (1) 米国のクレジットユニオンの概要	配付資料	配布資料と講義時に指示するホームページでクレジットユニオンをよく確認する	90分
12	海外の地域・中小企業金融の現状と課題 (2) 米国のクレジットユニオン, 世界クレジットユニオン連盟の歴史	配付資料	配布資料および講義時指示するホームページで世界クレジットユニオン連盟をよく確認する	90分
13	信用組合の課題 (前任教員担当予定)	配付資料	信用組合がいま直面している問題を確認する	90分
14	信用組合の未来 (前任教員担当予定)	配付資料	信用組合を含めた金融機関をとりまく環境変化やその対応を確認する	90分
15	総括	特になし	信用組合の存在理由をまとめた課題を提出	90分

⑪ アクティブラーニングについて

小テストや振り返りなどにより知識の定着, 確認をはかる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

以前に勤務していた銀行で営業等の業務に従事していた。

実務経験と授業科目との関連性

金融機関における実際の職務や実態などを効果的に学生に伝えることができる。